

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成30年9月20日(2018.9.20)

【公表番号】特表2017-532632(P2017-532632A)

【公表日】平成29年11月2日(2017.11.2)

【年通号数】公開・登録公報2017-042

【出願番号】特願2017-507732(P2017-507732)

【国際特許分類】

G 06 F 3/041 (2006.01)

C 09 J 5/06 (2006.01)

C 09 J 175/06 (2006.01)

【F I】

G 06 F 3/041 6 6 2

C 09 J 5/06

C 09 J 175/06

G 06 F 3/041 4 9 5

【誤訳訂正書】

【提出日】平成30年8月7日(2018.8.7)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

電子構成部品と、

第1基材と、

第2基材と、

ポリウレタンプレポリマーから誘導された、硬化した湿気硬化型ホットメルト接着剤組成物と

を含む電子装置であって、

前記第1基材は、前記接着剤組成物により前記第2基材に結合され、

前記硬化した接着剤組成物は、

約30分間にわたり少なくとも60から100以下の温度で前記装置を調整した後、前記第1基材と前記第2基材の少なくとも1つから完全に除去可能であり、

少なくとも3MPaの信頼性破断応力を示す、

電子装置。

【請求項2】

前記ポリウレタンプレポリマーは、

40以上の融点、および、少なくとも5500g/molから約20,000g/molまでの数平均分子量を有する第1結晶性ポリエステルポリオールと、

40以上の融点を有する第2結晶性ポリエステルポリオールであって、5500g/mol未満の数平均分子量を有し、かつ、ジオールとポリカルボン酸から誘導された結晶性ポリエステルポリオール、および、500g/molから約50,000g/molまでの数平均分子量を有するポリカプロラクトンポリオールからなる群から選択される第2結晶性ポリエステルポリオールと、

ポリイソシアネートと

の反応生成物を含む、請求項1に記載の電子装置。

**【請求項 3】**

前記ポリウレタンプレポリマーは、

40 以上の融点、および、少なくとも 5500 g / mol から約 20,000 g / mol までの数平均分子量を有する第1結晶性ポリエステルポリオールと、

40 以上の融点を有する第2結晶性ポリエステルポリオールであって、5500 g / mol 未満の数平均分子量を有し、かつ、ジオールとポリカルボン酸から誘導された結晶性ポリエステルポリオール、および、500 g / mol から約 50,000 g / mol までの数平均分子量を有するポリカプロラクトンポリオールからなる群から選択される第2結晶性ポリエステルポリオールと、

ポリエーテルポリオールと、

25 以下の融点を有する第3ポリエステルポリオールと、

ポリイソシアネートと

の反応生成物を含む、請求項1に記載の電子装置。

**【請求項 4】**

前記第1基材は、約30分間にわたり少なくとも60 から 100 以下の温度で前記装置を調整した後、前記第1基材と前記第2基材の少なくとも1つを損傷させることなく、前記第2基材から分離可能である、請求項1に記載の電子装置。

**【請求項 5】**

前記第1基材を前記第2基材から分離した後、前記第2基材上に存在する前記硬化した接着剤組成物の残留物を全て、前記第2基材から完全に除去可能である、請求項4に記載の電子装置。

**【請求項 6】**

前記硬化した接着剤組成物は、少なくとも4の剥離度を示す、請求項1に記載の電子装置。

**【請求項 7】**

前記第1基材は、72時間にわたり85 、および、相対湿度85 %で前記装置を調整し、前記装置を室温まで冷却した後、前記第2基材と恒久的に結合したままである、請求項1に記載の電子装置。

**【請求項 8】**

約30分間にわたり、少なくとも60 から 100 以下の温度で物品を調整するステップであって、前記物品は、

第1基材と、

第2基材と、

硬化した湿気硬化型ポリウレタンホットメルト接着剤組成物とを含み、前記第1基材は、前記硬化した接着剤組成物により前記第2基材に結合するステップと、

前記第1基材と前記第2基材の少なくとも1つを損傷させることなく、前記第1基材を前記第2基材から分離させるステップと

前記第1基材から前記接着剤組成物を完全に除去するステップとを含む、物品をリワークする方法。

**【請求項 9】**

前記分離させるステップは、人により実施され、前記第1基材の少なくとも一部を第1の手で把持するステップと、前記第2基材の少なくとも一部を第2の手で把持するステップと、前記2枚の基材を互いに引き離すステップとを含む、請求項8に記載の方法。

**【請求項 10】**

前記方法は、前記2枚の基材を分離した後、剥離力を使って、前記接着剤組成物を前記第1基材から完全に除去するステップを更に含む、請求項8に記載の方法。

**【請求項 11】**

40 以上の融点、120 以下の軟化点、および、少なくとも 5500 g / mol から 20,000 g / mol 以下の数平均分子量を有する第1結晶性ポリエステルポリ

オールと、

40 以上の融点、95 以下の軟化点、および、約 500 g / mol から約 50,000 g / molまでの数平均分子量を有する第2結晶性ポリエステルポリオールであって、前記第1結晶性ポリエステルポリオールとは異なる第2結晶性ポリエステルポリオールと、

40 以下の融点を有する第3ポリエステルポリオールと、

ポリエーテルポリオールと、

ポリイソシアネートと

の反応生成物を含むポリウレタンプレポリマーを含む湿気硬化型ポリウレタン接着剤組成物であって、

前記接着剤組成物は、少なくとも 5 MPa の 25 破断応力、および、1 MPa 以下の 80 破断応力を示し、80 破断応力試験法に準拠する 1 分以内の試験中に、ポリカーボネート基材から完全に除去できる、湿気硬化型ポリウレタン接着剤組成物。

#### 【請求項 12】

前記ポリウレタンプレポリマーは、

1 重量 % から 60 重量 % の前記第1結晶性ポリエステルポリオールと、

1 重量 % から 40 重量 % の前記第2結晶性ポリエステルポリオールと、

10 重量 % から 60 重量 % の前記第3ポリエステルポリオールと

の反応生成物を含む、請求項 11 に記載の湿気硬化型ポリウレタン接着剤組成物。

#### 【請求項 13】

第1基材と、

第2基材と、

硬化した接着剤組成物と

を含む物品であって、前記第1基材は、前記硬化した接着剤組成物により前記第2基材に結合し、前記硬化した接着剤組成物は、

少なくとも 5500 g / mol から 20,000 g / mol までの数平均分子量、40 以上の融点、および、120 以下の軟化点を有する第1結晶性ポリエステルポリオールと、

40 以上の融点、95 以下の軟化点、および、約 500 g / mol から約 50,000 g / molまでの数平均分子量を有する第2結晶性ポリエステルポリオールであって、前記第1結晶性ポリエステルポリオールとは異なる第2結晶性ポリエステルポリオールと、

ポリイソシアネートと

の反応生成物を含むポリウレタンプレポリマーから誘導され、

前記接着剤組成物は、約 30 分間にわたり少なくとも 60 から 100 以下までの温度で前記物品を調整した後、溶剤の使用、または、研磨作用なしに前記第1基材と前記第2基材の少なくとも 1 つから完全に除去可能であり、

前記硬化した接着剤組成物は、少なくとも 5 MPa の 25 破断応力、および、1 MPa 以下の 80 破断応力を示す、物品。